

【榎本館長からのメッセージ】

今年は例年より菜の花が早く咲き、春が早い？と思いきや急激に冬に逆戻り。蕾が固くなり花期が遅くなるなど、何とも安定しない気候が続いています。そんな中、植物館の春の花、ヒスイカズラが翡翠色の花房をブククリとさせ、まもなく開花を迎えます。カカオやスターフルーツも実り、見頃を迎えています。ぜひ春の訪れを植物館で感じてください。

～復興支援ご協力のお礼～ 東日本大震災から今年で5年目を迎えます。この5年の間、植物に携わるものとして、できる支援はと考え「花を届ける夢の折り鶴プロジェクト」を継続し、行ってまいりました。この間多くの来館者や関係者の方にご協力、ご支援を戴き大変感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も折り鶴プロジェクトは、あの日を忘れない為、継続してまいります。これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。 館長



▲ハナナ (アブラナ科)

屋外で見られる植物の紹介 (副館長: 矢部)

風が吹いて暖かさを運んでくるこの季節。二十四節季では雪が溶けて川になる「雨水」、つくしの子が顔を出す「啓蟄」とだんだん活動的になってゆきます。もう春ですね。重いコート脱いでちょっと気取って公園に、植物館に出かけませんか。

植物館の隣地で冬からずっと黄色い花をつけて頑張っていたあの花が、ボリュームアップして皆様をお迎えます。今回は『ハナナ』を取り上げます。

黄色の花びらが4枚、十字形につけるので、十字形花と呼ばれていたこともあり。高さ60～80cmのあたりに総(ふさ)のように咲き誇った花々は特徴のある甘い香りで満たされ、風向きによっては園路を歩いていても感じるすることができます。

「ハナナ」とはアブラナ科のチリメンハクサイから観賞用に選別された寒さにも強い品種です。ナノハナ(菜の花)とも呼ばれますが、本来ナノハナとはアブラナ科の黄色い花をまとめた呼称です。キャベツ、ブロッコリー、野沢菜、カブ、小松菜、白菜、カラシナの花も同じ黄色、似たような形で咲く為、このグループに入ります。お正月の寄せ植えにも用いられるハボタンも春になると中心部から茎が伸び、黄色い花を咲かせます。今、お持ちの方は4月中旬までそのまま育てて下さい。

アブラナ科の中でもダイコンの花は白やピンク、クレソンは白色の為、ナノハナとは呼ばれません。

温室で見られる熱帯植物の紹介 (植物館植栽担当: 横平)

ヘリコニア・ロストラータを見れば、熱帯を思い浮かべる方が多いでしょう。

ペルーを中心とした南アメリカ原産の多年草で、ヘリコニアの仲間は、中央アメリカから南アメリカ、南太平洋諸島に分布していて、およそ100種あると言われています。古い文献ではバショウ科に分類されていました。

館内ではロストラータの他に、ヘリコニア・プシッタコルム、ヘリコニア・カリバエア×ビハイ(写真右下)など代表的な品種を11種ほど展示しています。

色鮮やかな赤や橙、黄色といった目立つ部分は苞といい、本当の花はその苞の中にあり小さく白や緑、黄色などをしています。花のつき方が、花茎が直立するもの(カリバエア×ビハイ等)と曲がって下垂するもの(ロストラータ)のほぼ2つのグループに分けられます。また苞も、二列に並んでつくもの(ロストラータ等)とらせん状につくもの(プシッタコルム等)にグループ分けできます。

それぞれどのグループになるのかじっくり観察してみると、新たなヘリコニアの美しさが発見できるかもしれません。



▲ヘリコニア・プシッタコルム

▲ヘリコニア・ロストラータ (オウムバナ科)

苞の中に花があります▶

今月の花と実



▲ ナンヨウザクラ(白花)



▲ ナンヨウザクラ(桃花)



▲ ヒスイカズラ

♪ この時期の人気者 ♪

いよいよ3月。さくらの季節です。温室にも「桜」があるのをご存知ですか？白花で熱帯アメリカ原産のナンヨウザクラ科「南洋桜」。桃花で熱帯アメリカ原産のトウダイグサ科の「南洋桜」。こちらはテイキンザクラともいいます。どちらも優しい雰囲気春を迎える気分を盛りたてます。そのほかヒスイカズラも花盛り。見応えのある長い花房、地面に散る花まで美しい翡翠色。 必見です！！

【サーベス券】団体不可
 コーヒー・紅茶
 一杯無料
 3/1～3/31